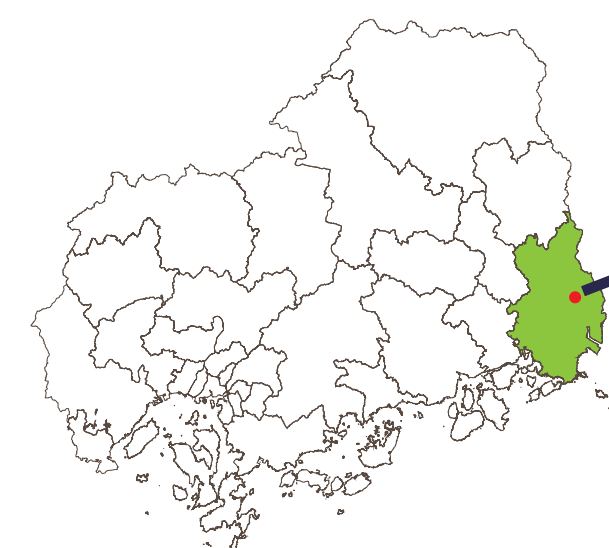




神辺駅周辺地図

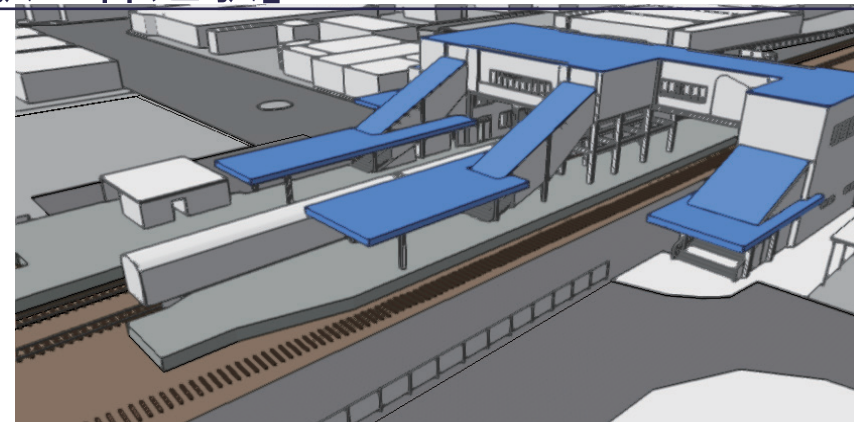
古くから街道の宿場町として栄え、多くの人やモノが行き来。2006 年の福山市へ合併後も JR 福山駅から 3 駅とアクセスもよく、ベッドタウンの役割で人口はなお増加傾向にある。

神辺駅は2つの鉄道が発着・接続する駅であり、地域の交通を支えている。

JR 福塩線

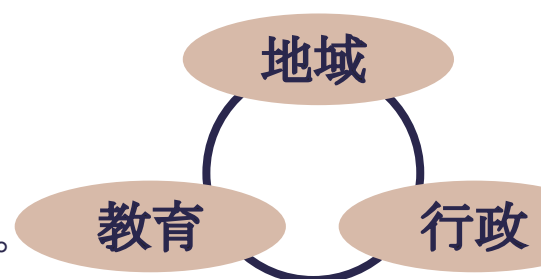
福山駅〜府中駅方面を結ぶローカル線

井原鉄道



| 周辺の様子と新たな取り組み

歴史的な町並みが今も
残る神辺駅東側と開発が
進む現代的な神辺駅西側
という異なる特徴がある。



まちの新たなにぎわい
 魅力の創出に向けた取り
 組みが官民一体で進めら
 れている。



(2024.9.8 撮影)



(2025. 11. 2 撮影)



(2025. 10. 17 撮影)

02 目的と基本方針

目的

本計画では「地域交通の維持」と「地域に根ざした空間づくり」に着目し一つの答えを提案する。時代の変遷を辿り、鉄道をはじめとした交通空間が地域に果たす役割について考えることを目的とする。

既存施設と併設する新たな駅舎を組み合わせ、これからの時代で段階ごとに形状を変えながらも交通拠点という役割を担っていく交通施設の生涯プランを提案する。

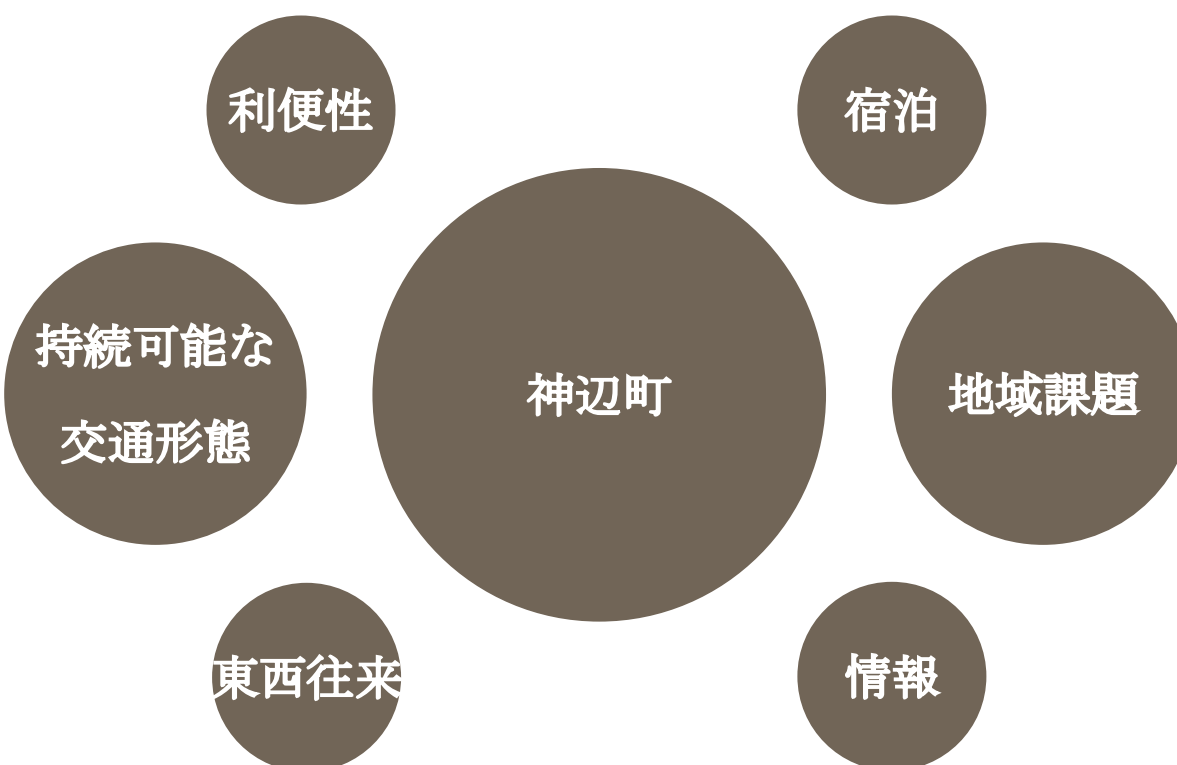
基本方針

①既存施設と新設施設の井原鉄道神辺駅の駅舎を設計し、地域の交通と活動の拠点とする

②駅の東西地区の往來の利便性ため、新たな交通空間の設置と JR 施設と接続をする

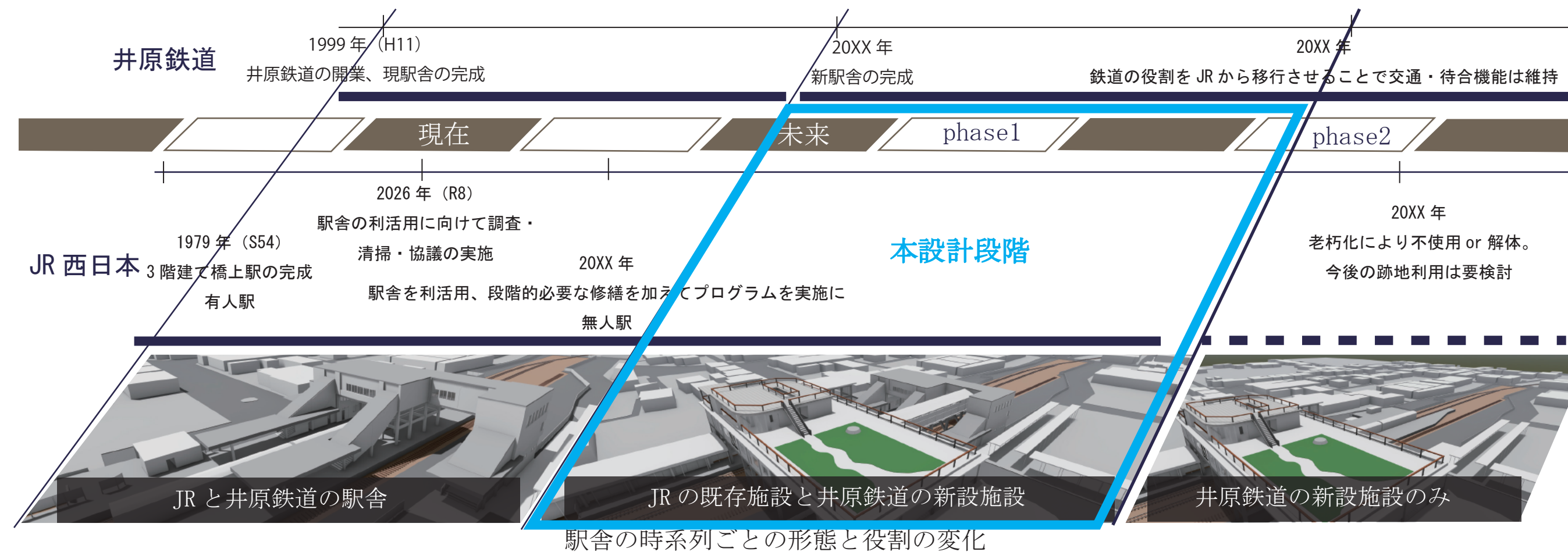
③地域の情報発信（共有）機能により、外部への発信や地域住民同士で共有できるようにする

④宿泊機能（ステーションホテル）を備えて、地域に滞在するための宿泊や鉄道体験を可能にする



03 地域交通の維持

地域交通を維持するための時系列計画



完成から年月が経ち、今後の駅舎のあり方について考える段階。駅舎の利活用に向けた取組みが少しずつ始まり、ニーズごとに方法が検討する。

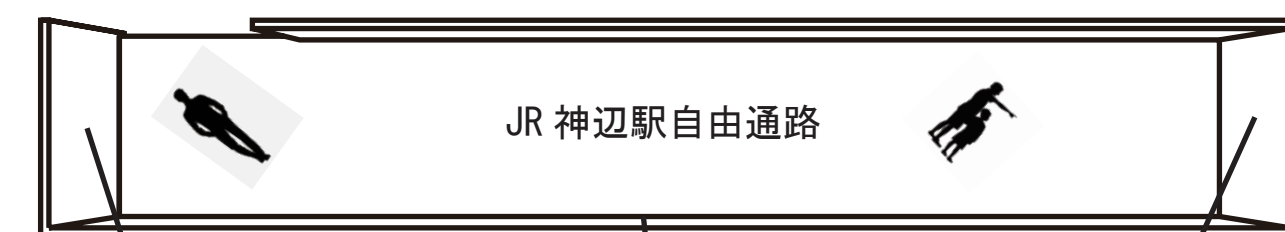
phase1 は JR の既存施設を利活用しながら井原鉄道の駅舎を新設して必要な機能や設備を更新してニーズに対応する。

老朽化により既存施設が使用不可になることを想定した段階。新設駅舎に役割を移行しても、交通などの機能は存続される。この流れを繰り返して、地域の交通を維持し、変化するニーズや老朽化に対応する。

JR 既存駅舎の利活用「自由通路壁面の掲示版」

JR 神辺駅自由通路は福山市が管理・運営している。また福山大学が提携することも決まり、地域の住民や自治体、学校が主体となり、壁面を活用して地域の情報を案内するポスターを掲示していく。現在活用に向けて改修が進められている。

掲示内容には、周辺の観光スポットやイベント情報、歴史や文化に関する案内が含まれ、駅利用者に地域の情報を提供することを目的としている。



(2025. 10. 17 撮影)



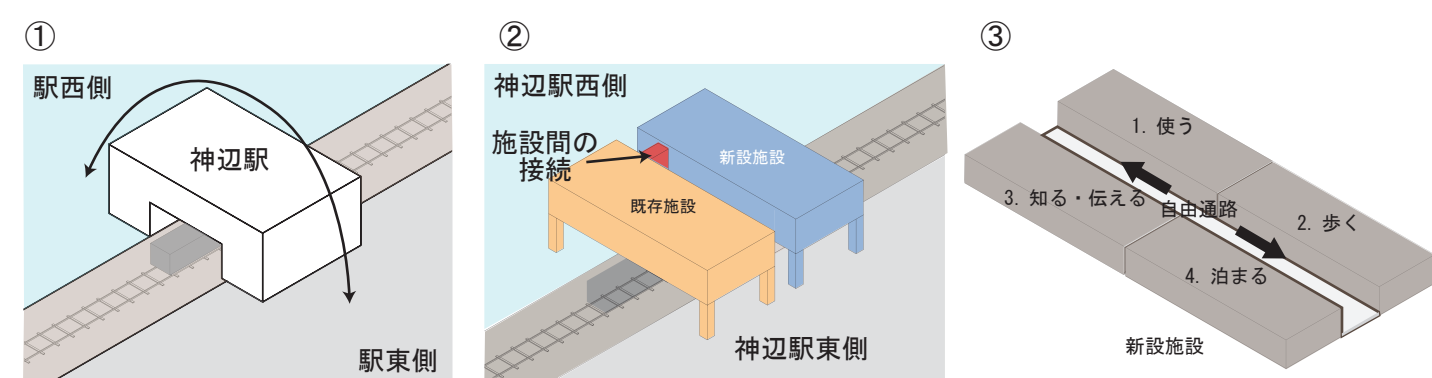
(2025. 10. 17 撮影)



(2025. 10. 17 撮影)

04 地域拠点化

設計方針



- ①東西の往来の拠点
東西往来の利便性向上
- ③自由通路とプログラム
自由通路の拠点空間の計画

②既存・新施設を併設させて一体化

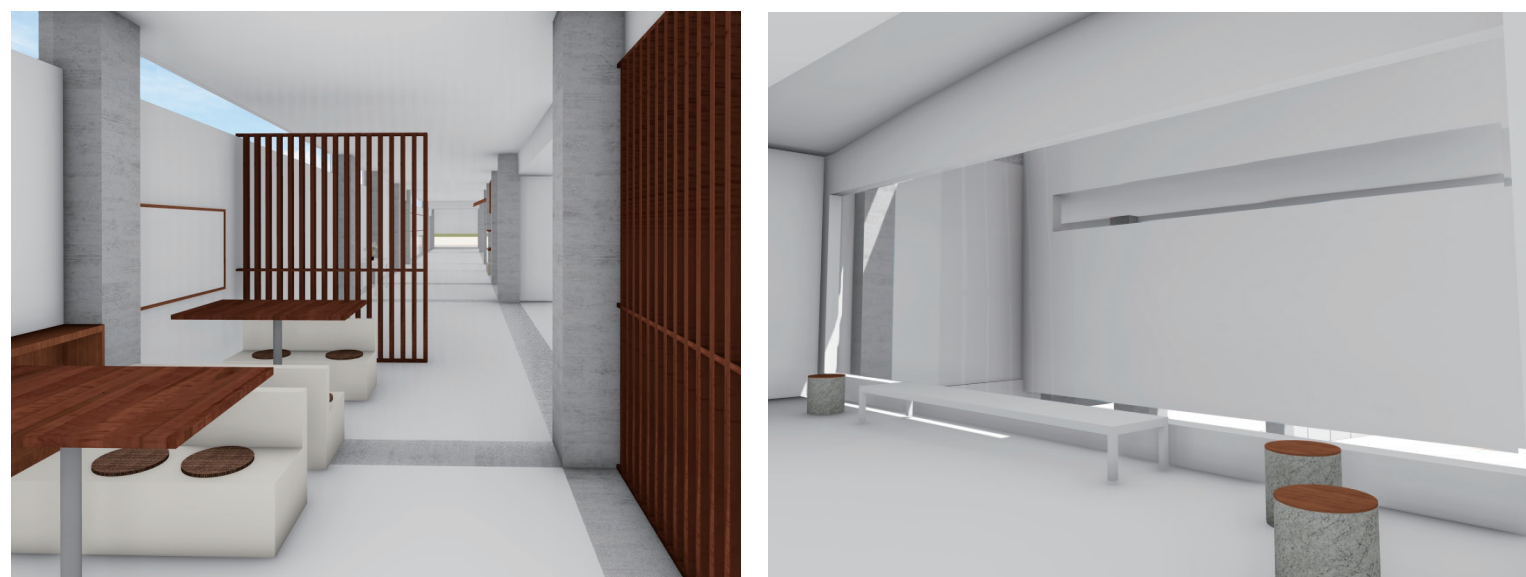
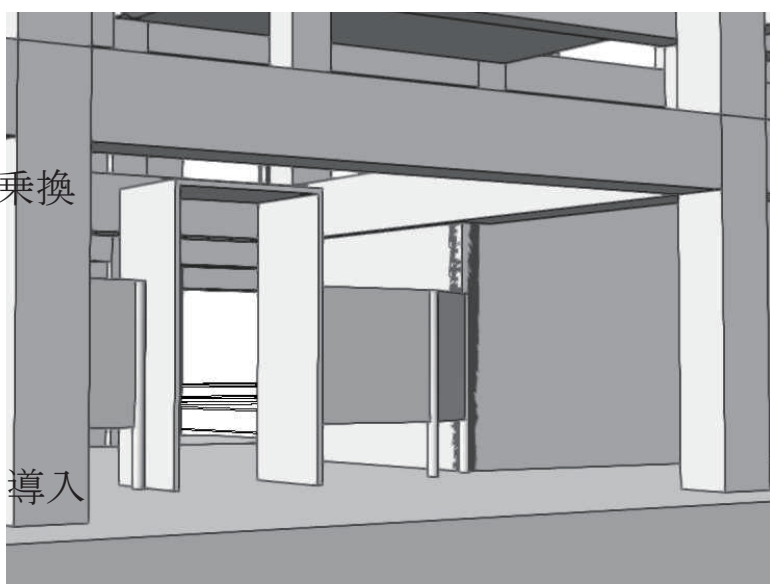
JR 既存駅舎の利活用と井原鉄道駅舎の新設の併用、
施設間の連絡通路の設置

05 提案する4つのプログラム

① 使う

交通・待合機能の利便性向上

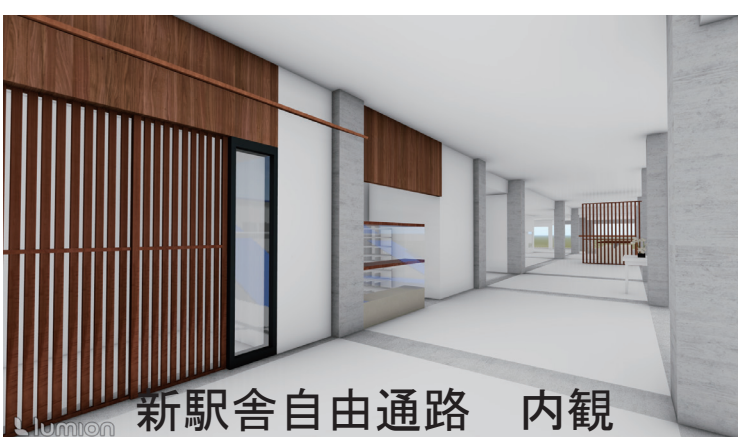
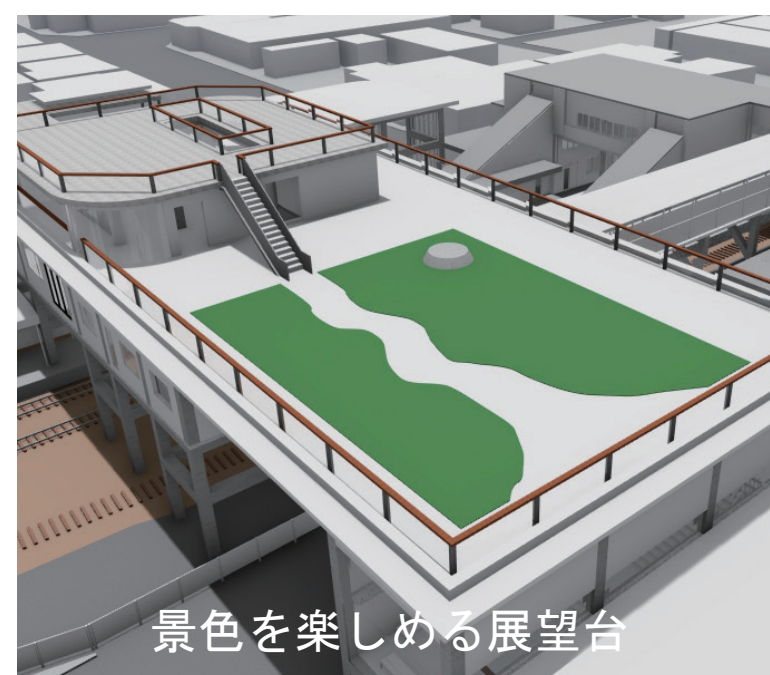
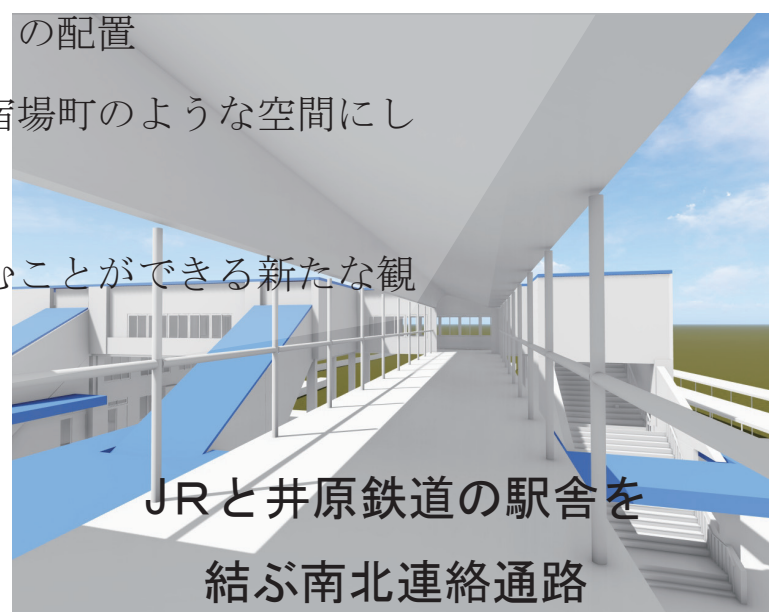
- ・鉄道の接続
→自由通路（東西、南北）、ホームでの乗換
- ・エレベーターの設置
→ホーム、各階に接続
- ・待合機能の強化
- ・顔認証改札システムの実証実験の実施、導入



② 歩く

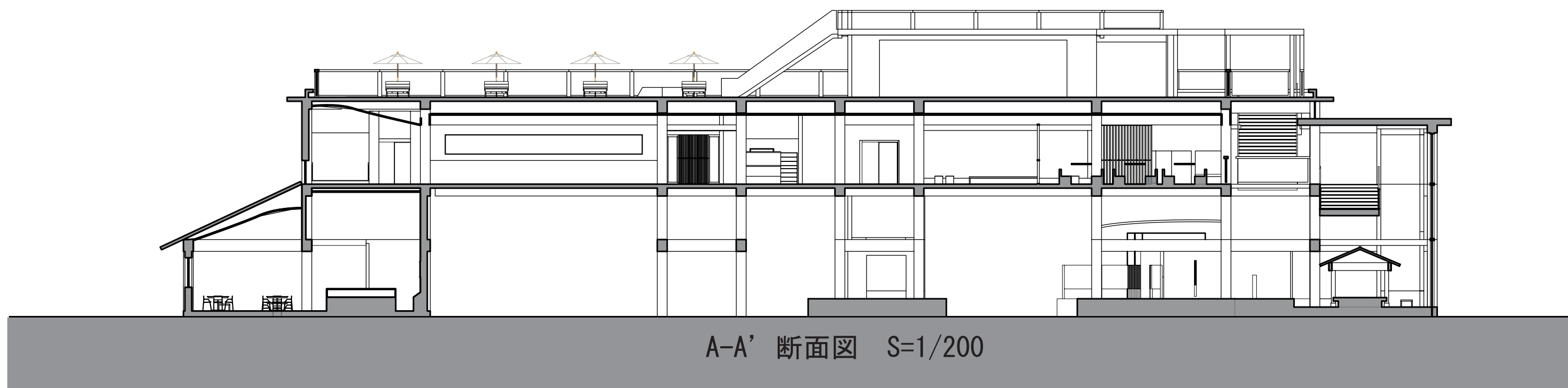
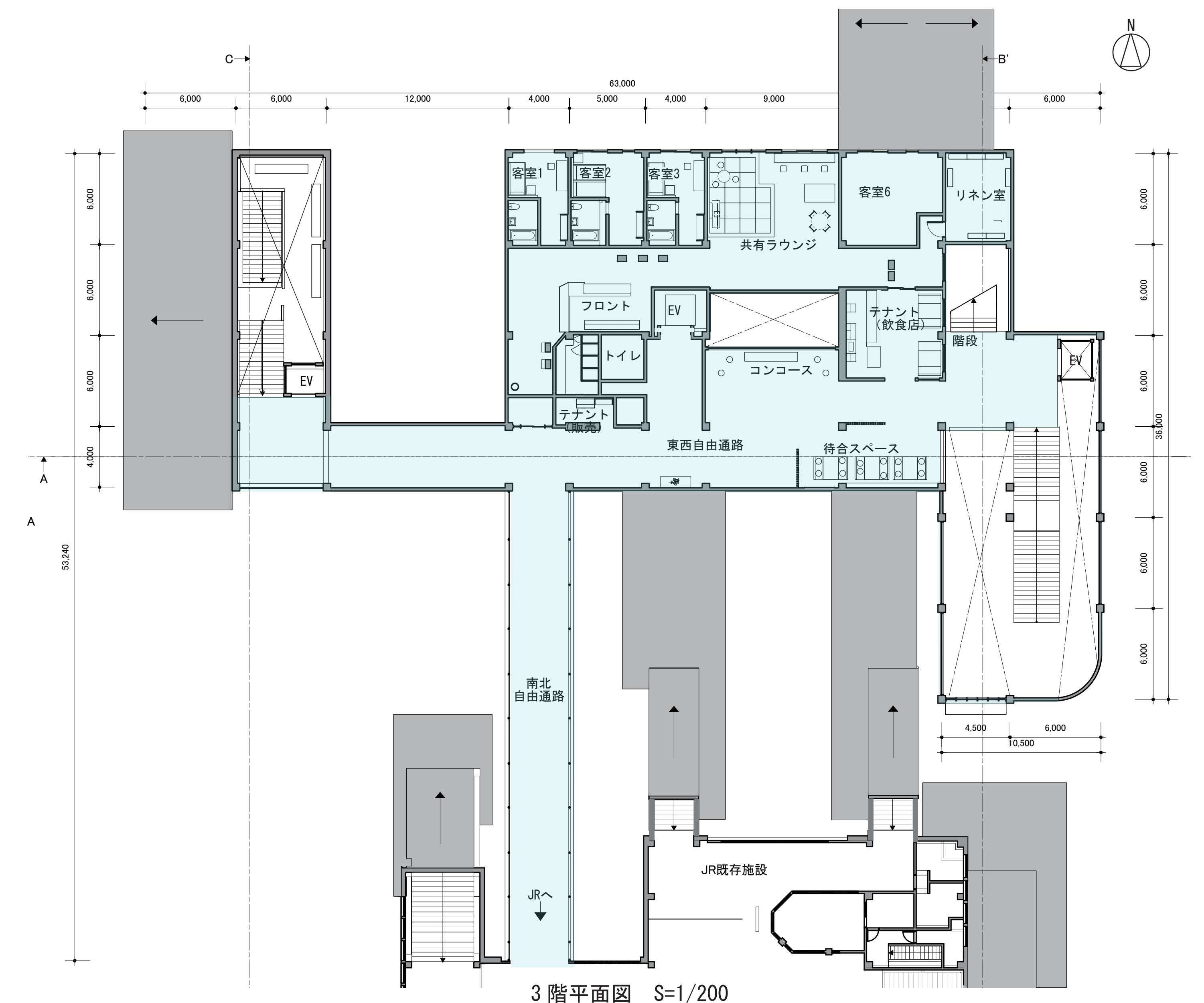
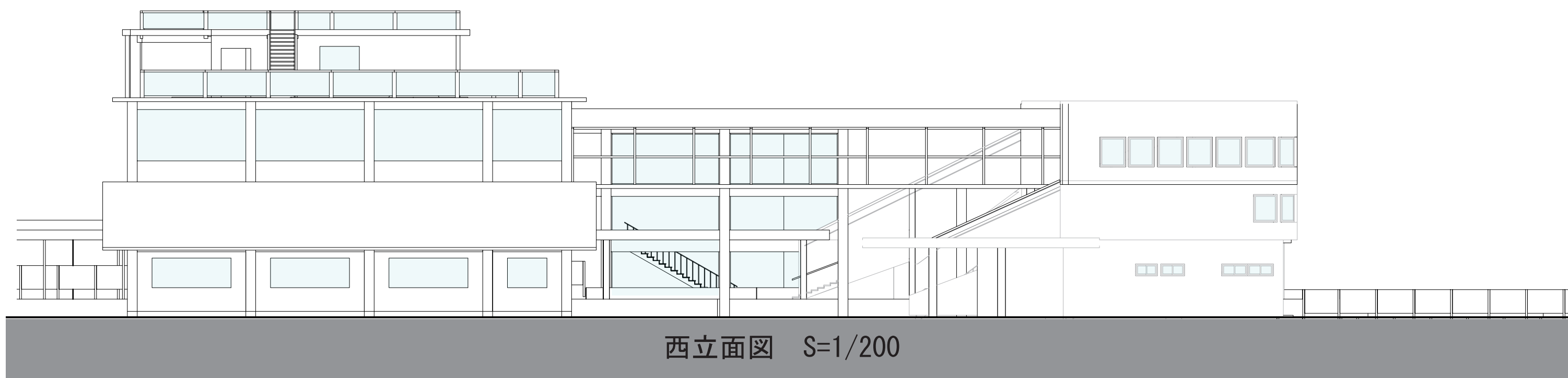
待ち時間が楽しくなる、歩きたくなる空間

- ・連絡通路に沿って店舗（飲食、販売）の配置
- ・屋台（簡易店舗）を設置して通路を宿場町のような空間にして歩いて楽しめる
- ・展望台を設置して、町の景色を楽しむことができる新たな観光名所に



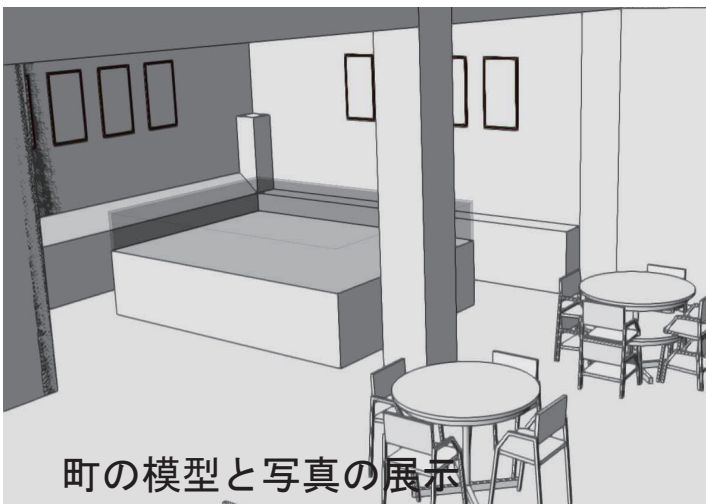
宿場町外観の凹凸や素材の差異が景観の魅力を生む点に着目し、その要素を自由通路にも応用。店舗の軒や格子の間仕切りを配置して、動線と景観を演出する。

05 立面図・平面図・断面図

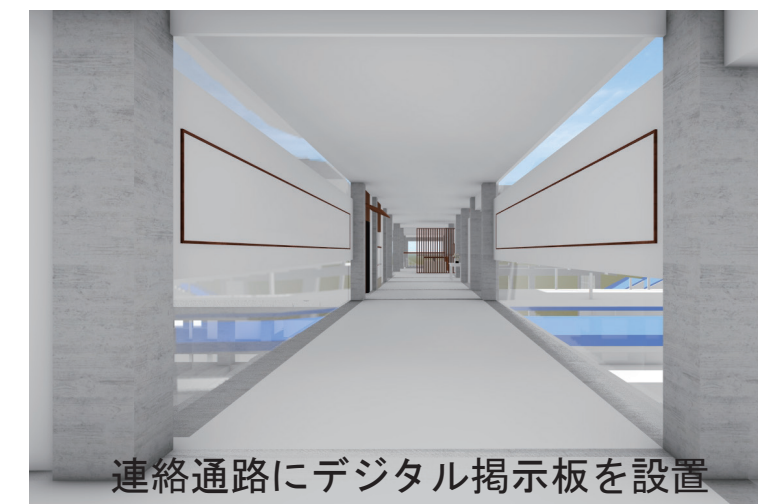


③ 知る・伝える

- ・地域のイベント活動発表情報を告知、共有
- ・観光名所、特産品の紹介
- ・企業の紹介ブースの設置
- ・模型や地図、掲示板の設置



町の模型と写真の展示

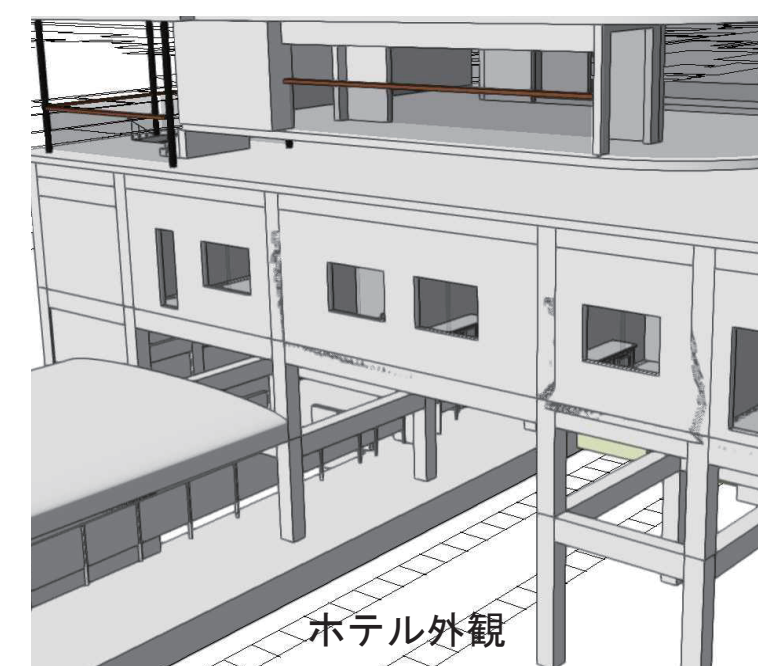


連絡通路にデジタル掲示板を設置

④ 泊まる

宿泊施設（ステーションホテル）

- ・利便性の向上
→まちに宿泊施設があることで利便性が向上し、より長期の滞在が可能に
- ・鉄道体験型ホテル
・通常よりも間近で車両や施設を見学できる
- ・駅員体験のイベントの開催



ホテル外観



共有ラウンジ



ホテルに属する飲食スペース

06 駅舎施設を接続するための改修

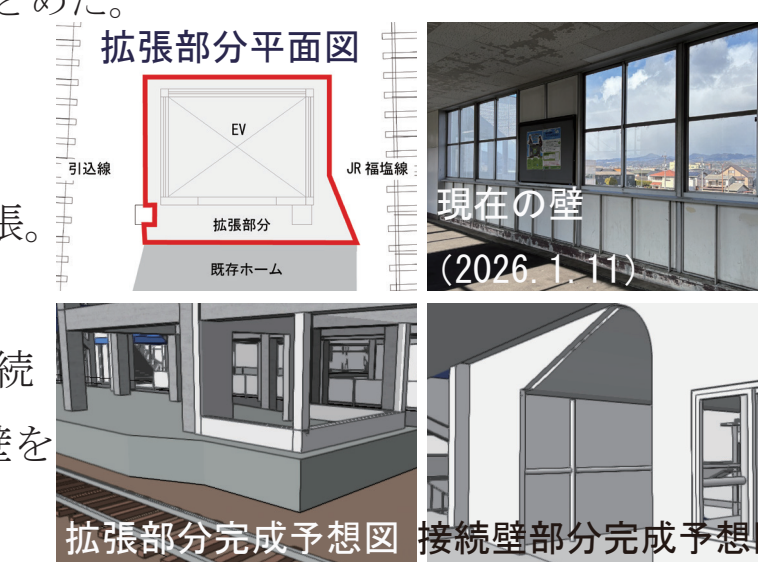
井原鉄道の駅舎を新設し、JR 駅舎と接続するために JR 既存駅舎を改修する必要がある。既存施設で可能性な利活用を行いながら、新設施設に新たな機能を追加するために必要な箇所の改修をまとめた。

1. ホームの拡張

新たに設置するエレベーターのスペースを確保するためにホームを拡張。

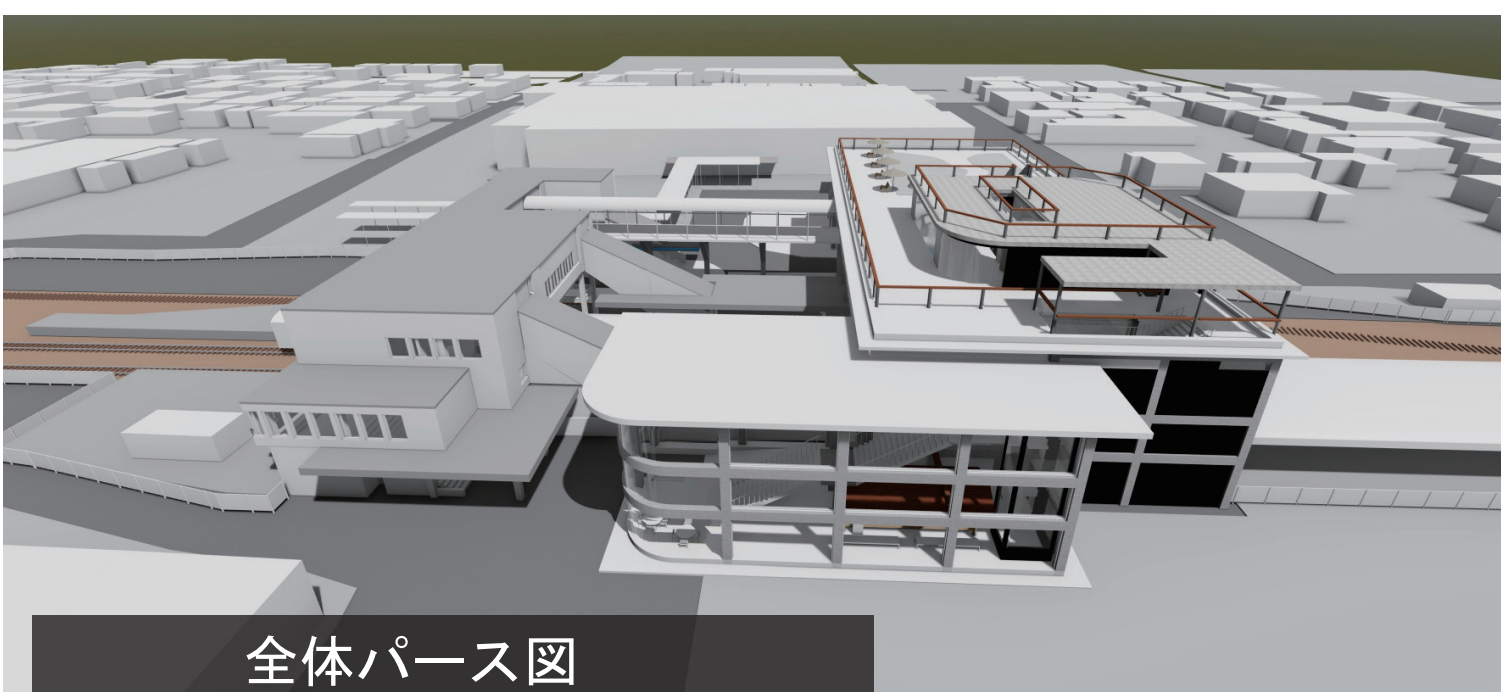
2. 壁を撤去

新たに設置する南北連絡通路を接続するために JR 駅舎 3 階自由通路の壁を一部撤去。



拡張部分完成予想図

接続壁部分完成予想図



全体パース図